

精工技研(6834) 20/3 期上期取材メモ

20/3 期は 11%増収 11.2%営利増予想と堅調、21/3 期は 5G 本格化で経常最高益更新期待

株価 3280 円 (12/24) 時価総額 306 億円 (12/24) 発行済株 9333 千株 (12/24)

PER (20/3DO 予 23.3X) PBR (1.30X) 配当 (20/3) 40 円 配当利回り : 1.22%

要約

- ・「精密加工」、「精密成形」、「光学技術」を生かし光製品と精機を 2 本柱として事業展開
- ・20/3 期上期は 6.8%増収 18.6%営利増と光製品関連が牽引し 2 ケタ増収増益を達成
- ・20/3 期会社計画に変更なく光製品関連の伸びで 11%増収 11.2%営利増予想は増額含み
- ・21/3 期は光部品で 5G やデータセンタ向け拡大、精機は車載向け拡大で経常最高益更新へ
- ・株価は 20/3 期増額を見込み 10/24 年初来高値 3920 円を目標に新規アウトパフォーマンス

「精密加工」、「精密成形」、「光学技術」を生かし光製品と精機を 2 本柱として事業展開

1972 年に日立化工(現

在の日立化成の子会社)

を退職した高橋光雄氏が

大田区に焼結機械部品用

金型の設計・製造・エン

지니어リングを目的に創

業。1981 年に情報用光デ

ィスク射出成型機用金型

開発に着手し、84 年 7 月

には世界に先駆けて「光

ディスク成型用金型」生

産を開始、また 87 年には世界初の「光コネ

クタ研磨機」などを投入し、光ディスクの普

及、光部品の量産化に大きく貢献し、その後、

光ディスク全盛期に高い収益を稼ぎ出した。

但し光ディスク需要の衰退とともに収益が

大きく低迷、リーマンショックも影響し 08/3

期～12/3 期まで収益低迷を余儀なくされた。

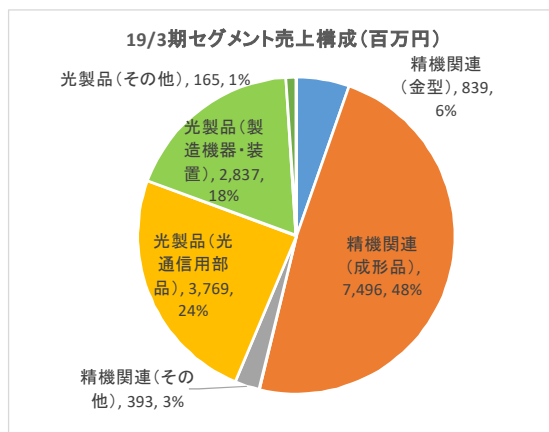
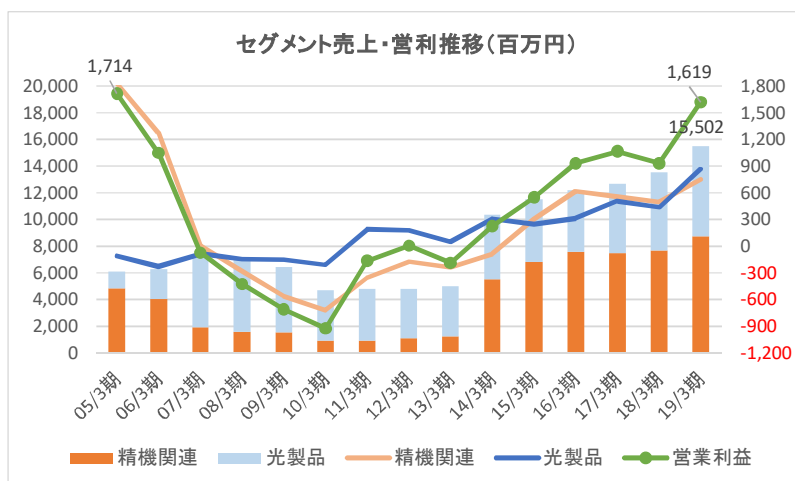
しかしコア技術である精密加工技術を軸に、

関連事業の M&A も実施し、「情報産業」分野

において市場ニーズに即した商品提供を行い、現在は光通信用部品とその製造機器を主製

品とする「光製品事業」、また光ディスク成型用に加え車載関連成形用金型、医療用精密成

品とする「光製品事業」、また光ディスク成型用に加え車載関連成形用金型、医療用精密成



形、インサート成形品を主製品に加えた「精機事業」の両事業を中心に展開している。

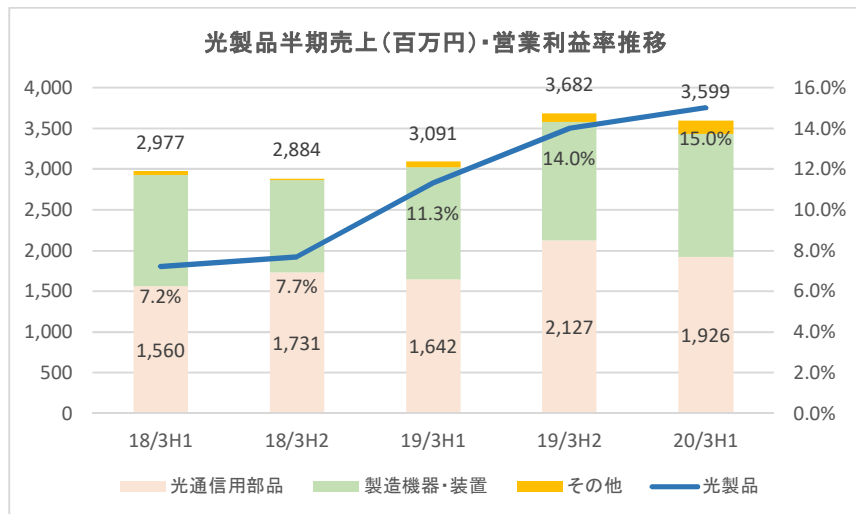
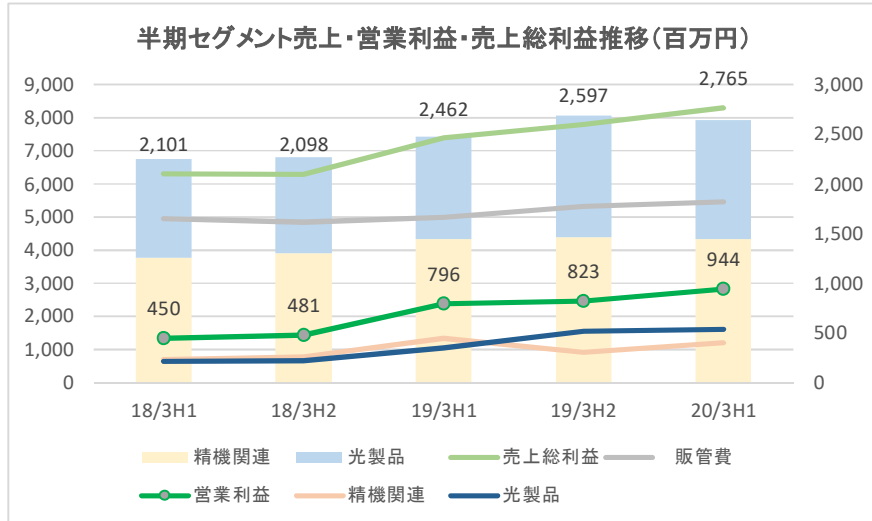
前19/3期のセグメント別収益構成は、精機部門が売上高74.85億円、営業利益24.21億円、光製品部門が売上高67.73億円、営業利益8.65億円となっている

20/3期上期は6.8%増収18.6%営利増と光製品関連が牽引し2ケタ増収営利増益を達成

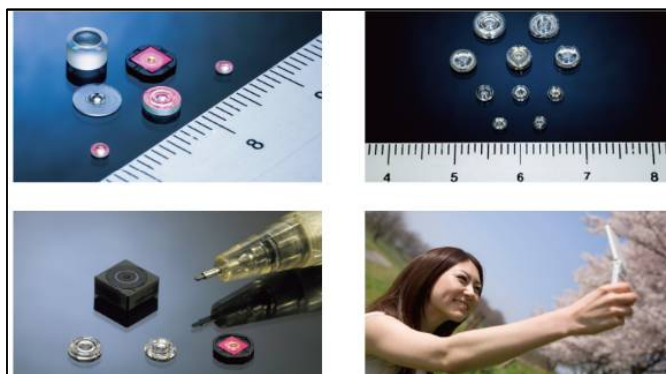
20/3期上期は売上高79.36億円(6.8%増)、営業利益9.44億円(18.6%増)、経常利益9.34億円(6.9%増)、税引利益6.22億円(8.9%増)と、期初計画に対し売上で3億円未達成だったものの、利益はほぼ計画通りで着地した。

部門別では精機部門が売上高43.37億円(0.1%減)、営業利益4.03億円(9.5%減)。センサー向けに自動車のセンサ用基幹部品や車載インサート成形部

品などは堅調も、電子機器向けプレス成型品が振るわず、売上横這い。利益は工場移管などレイアウト変更、プレス成形品の減等で下減益に。一方、光製品関連は売上高35.99億円(16.4%増)、営業利益5.40億円(54.2%増)と伸長した。



5Gの本格稼働を睨み、基地局インフラ向けに光通信部品が伸長し売上高が19.26億円(17.3%増)、光通信部品製造用の機器や研磨機も好調で15.04億円(8.7%増)に。その他レンズ等もスマホ用の自撮りレンズに加え超小型樹脂レンズ量産も始まり売上高は1.67億円



(2.6倍)に。利益面では好採算の機器・装置の増収効果で利益率が向上した。

20/3期会社計画に変更なく光製品関連の伸びで11%増収11.2%営業増予想は増額含み

上期がほぼ計画通りに推移したことから、会社側では期初計画を変更せず、20/3期は売上高172億円(11.0%増)、営業利益18億円(11.2%増)、経常利益18.5億円(5.4%増)、税引利益12.5億円(1.4%増)予想とした。

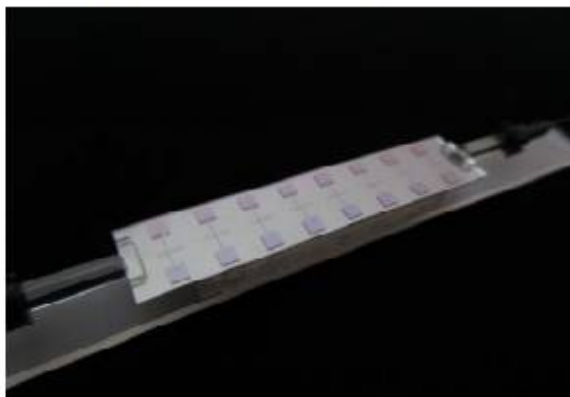
部門別では精機部門が94.8億円(8.6%増)、営業6.6億円(12.4%減)と、下期に新製品効果で前年同期比17.3%増となるものの、設備投資増強による償却負担増から15.2%減とコスト増が影響する見通し。一方、光製品関連は売上高77.2億円(14.0%増)、営業11.4億円(31.8%増)を見込むが、下期は5G関連に加えて一時的に伸び悩んでいたデータセンタ向けコネクタも回復基調となり、前年同期比17.3%増と好調を維持する見通しにある。

現状、光製品はQ2に米中摩擦の影響から売上が減額となった要素もあり下期は旺盛な5G関連に加えデータセンタ向けの寄与で計画を上回る見通しにあり、全体として収益の上振れが期待される。

21/3期は光部品で5Gやデータセンタ向け拡大、精機は車載向け拡大で経常最高益更新へ

21/3期は光製品関連では光通信部品が5G普及促進で基地局向けに光部品の伸長が見込める他、5G対応の基地局アンテナ測定用に光電界センサ(28GHz帯測定可能な光電界センサとして世界初)も上市されることで伸長が見込める。レンズでは5G端末の拡大で複眼化と超小型レンズの拡販が進む。加えてデータセンタでは次世代データセンタ投資が本格化、光トランシーバ用光デバイス用部品やコネクタの拡大、新型光コネクタ研磨機などの伸長も期待

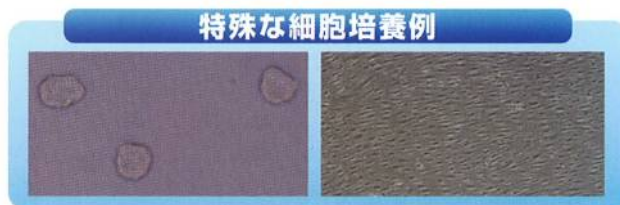
28GHz帯アンテナ電極型センサヘッド



される。精機関連では千歳工場の能力増強投資が20年7月に完了し、自動車関連、医療バ

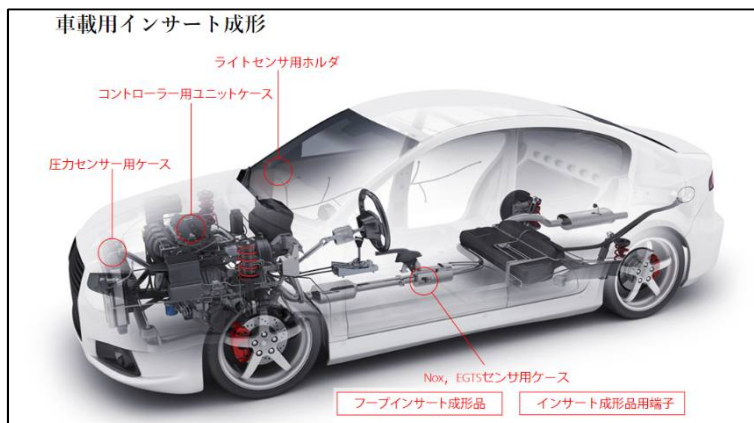
イオ関連成型品の拡大が見込まれるほか、精密金型も微細化、肉薄成形技術の

■細胞培養面に微細構造を形成した細胞培養用ディッシュ



ニーズの高まりで高付加価値製品の売上増が見込める。

このため、21/3 期は 2 本柱のいずれもが 2 ケタ増収が見込まれ、利益面ではいよいよ 04/3 期の 21.69 億円を抜き、経常最高益更新が期待される。また 22/3 期以降も 5G で端末の本格拡大、IoT などの拡大によるデータセンタ需要拡大、車載や医療でも能力増強効果がフル寄与し、増収増益が続こう。



株価は 20/3 期増額を見込み 10/24 年初来高値 3920 円を目標に新規アウトパフォーム

株価は業績好調ながら米中問題激化の話題の中で 3000 円付近にて 9 月まで推移していたが、5G 基地局投資が順調に拡大している中で株価が上昇、10/24 には 3920 円の高値を付けた。その後、11/8 の半期決算で上期がほぼ会社計画並みで、通期増額修正がなされなかったこともあり、株価が 3795 円から 11/15 には約 20%弱下落し 3075 円まで急落、その後は 3300 円付近で推移している。しかし、通期業績が増額含みであり、21/3 期には 5G 投資の活発化から 04/3 期以来の最高益更新も視野に入っており、当面、10/24 高値の 3920 円を目標に、新規にアウトパフォームとする。

精工技研(6834)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
18/3期	13,547	7.1%	931	-12.6%	1,054	-9.5%	915	14.2%	99.0	27.00
19/3Q1	3,536	7.2%	277	108.3%	291	92.7%	152	-53.1%	16.5	0.00
19/3Q2	3,898	13.8%	519	63.7%	584	74.9%	419	93.1%	45.3	0.00
19/3Q3	4,281	25.3%	483	90.9%	522	48.3%	354	48.7%	38.3	0.00
19/3Q4	3,787	11.1%	340	49.1%	358	65.0%	308	126.5%	33.3	30.00
19/3H1	7,434	10.6%	796	76.9%	875	80.4%	571	5.5%	61.8	0.00
19/3H2	8,068	18.2%	823	71.1%	880	54.7%	662	77.0%	71.5	30.00
19/3期	15,502	14.4%	1,619	73.9%	1,755	66.5%	1,233	34.8%	133.3	30.00
20/3Q1	4,101	16.0%	524	89.2%	518	78.0%	345	127.0%	37.3	0.00
20/3Q2	3,836	-1.6%	420	-19.1%	417	-28.6%	277	-33.9%	67.5	0.00
20/3H1期初会予	8,290	11.5%	950	19.3%	970	10.9%	670	17.3%	72.5	0.00
20/3H1	7,937	6.8%	944	18.6%	935	6.9%	622	8.9%	67.5	0.00
20/3H2期初会予	8,910	10.4%	850	3.3%	880	0.0%	580	-12.4%	62.7	40.00
20/3H2修正会予	9,263	14.8%	856	4.0%	915	4.0%	628	-5.1%	67.7	40.00
20/3期会予	17,200	11.0%	1,800	11.2%	1,850	5.4%	1,250	1.4%	135.2	40.00
20/3H2DO予	9,363	16.1%	956	16.2%	1,015	15.3%	672	1.5%	73.1	40.00
20/3期DO予	17,300	11.6%	1,900	17.4%	1,950	11.1%	1,300	5.4%	140.8	40.00
21/3期DO予	19,700	13.9%	2,300	21.1%	2,350	20.5%	1,650	26.9%	178.5	55.00
22/3期DO予	23,000	16.8%	2,850	23.9%	2,900	23.4%	2,050	24.2%	221.8	65.00

年度	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期会 予	20/3期 DO予	21/3期 DO予	22/3期 DO予
売上高	12,183	12,644	13,547	15,502	17,200	17,300	19,700	23,000
売上総利益	3,789	3,972	4,199	5,059		5,565	6,450	7,600
営業利益	930	1,065	931	1,619	1,800	1,900	2,300	2,850
経常利益	967	1,165	1,054	1,755	1,850	1,950	2,350	2,900
親株主帰属純利益	550	801	915	1,233	1,250	1,300	1,650	2,050
セグメント売上情報年度	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期会 予	20/3期 DO予	21/3期 DO予	22/3期 DO予
精機関連	7,595	7,482	7,689	8,729	9,480	9,529	9,900	10,500
光製品	4,588	5,163	5,861	6,773	7,720	7,770	9,800	12,500
売上合計	12,183	12,644	13,547	15,502	17,200	17,300	19,700	23,000
セグメント営業利益	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期会 予	20/3期 DO予	21/3期 DO予	22/3期 DO予
精機関連	617	559	494	753	660	710	760	840
光製品	314	506	437	866	1,140	1,190	1,540	2,010
営業利益	930	1,065	931	1,619	1,800	1,900	2,300	2,850
年度	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期会 予	20/3期 DO予	21/3期 DO予	22/3期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	68.9%	68.6%	69.0%	67.4%	100.0%	67.8%	67.3%	67.0%
売上総利益	31.1%	31.4%	31.0%	32.6%		32.2%	32.7%	33.0%
販管費	23.5%	23.0%	24.1%	22.2%		21.8%	21.1%	20.7%
営業利益	7.6%	8.4%	6.9%	10.4%	10.5%	11.0%	11.7%	12.4%
経常利益	7.9%	9.2%	7.8%	11.3%	10.8%	11.3%	11.9%	12.6%
親株主帰属純利益	4.5%	6.3%	6.8%	8.0%	7.3%	7.5%	8.4%	8.9%
セグメント営業利益率	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期会 予	20/3期 DO予	21/3期 DO予	22/3期 DO予
精機関連	8.1%	7.5%	6.4%	8.6%	7.0%	7.5%	7.7%	8.0%
光製品	6.8%	9.8%	7.5%	12.8%	14.8%	15.3%	15.7%	16.1%
営業利益	7.6%	8.4%	6.9%	10.4%	10.5%	11.0%	11.7%	12.4%

